

報道関係者各位

2026 年 9 月 25 日

国立大学法人埼玉大学
学校法人立教学院立教大学コミュニティ福祉学部
特定非営利活動法人ブランディングポート
野村不動産株式会社

「Be ACTO 武蔵浦和」をフィールドに、「防災」をテーマとした産学民連携プログラムを実施

- 地域課題の解決と次世代人材のキャリア教育を両立する実践型教育 -

国立大学法人埼玉大学(所在地：埼玉県さいたま市／学長：重原 孝臣、以下「埼玉大学」)、学校法人立教学院立教大学コミュニティ福祉学部（所在地：埼玉県新座市／学部長：木下 武徳、以下「立教大学コミュニティ福祉学部」）、特定非営利活動法人ブランディングポート（所在地：東京都豊島区／代表理事：安藤 奏、以下「ブランディングポート」）、野村不動産株式会社（本社：東京都港区／代表取締役社長：松尾 大作、以下「野村不動産」）は、プラウドシティ武蔵浦和ステーションアリーナ内「Be ACTO 武蔵浦和（マチノバ）」をフィールドに、産学民が連携して地域課題の解決と次世代人材のキャリア教育を両立する実践型教育プログラムに取り組んできました。

このたび、「昼間に地域の人が少ない都市で、安心して暮らせる防災をどう実現するか」という地域課題について、2026 年 8 月よりプログラムに取り組み、同年 9 月 10 日に最終報告会を実施しましたことをお知らせします。



1. これまでの経緯

ブランディングポートは、埼玉大学キャリアセンターと「キャリア教育に資するインターンシップ連携協定」を締結し、長期実践型インターンシッププログラム「B-CAMP(ビーキャンブ)」を実施し、学生主導による埼玉県内のエリアマネジメントを通じたキャリア教育を展開しています。

また、野村不動産では、これまでに様々な街づくりに携わった経験を踏まえ、地域力の維持、持続可能な街づくりに良好な地域コミュニティを維持・形成していくことが重要だと考えており、エリアマネジメント活動を推進しております。

2024 年 11 月には、「地域の学生を中心としたエリアマネジメントを通じて、地域住民の愛着や誇りを生み出すとともに、学生自身もキャリア自律につながる場を設けたい」という想いが合致し、埼玉大学・ブランディングポート・野村不動産にて「人材育成と地域活性化の相互発展に関する合意書」を締結しました。以降、埼玉大学の学生を中心とした地域住民のシビックプライド醸成に向けた複数の産学民連携プログラムに取り組んできました。さらに、これまでの取組成果を踏まえ、連携内容を発展・拡充する形で、2026 年 9 月には上記三者にて新たに「地域共創とキャリア教育に関する連携協定書」を締結しており、地域課題の解決と次世代人材の育成に向けた取り組みを一層強化しています。

また、立教大学コミュニティ福祉学部・ブランディングポート・野村不動産においても、2026 年 8 月に「地域共創とキャリア教育に関する連携協定書」を締結し、学生のキャリア教育×地域課題解決の枠組みの拡大に向けた取り組みを開始いたしました。

本プログラムでは、ブランディングポートが大学・企業・地域をつなぐ全体コーディネートおよびプログラムの設計・運営を担い、地域課題の解決に取り組むプロセスを学生自身のキャリア形成につなげることを目指しています。同学部の原田峻准教授監修のもと地域課題を学術的視点と実践の両面から学ぶプログラムとして実施しています。

2. 産学民連携プログラム概要

本プログラムでは、埼玉大学および立教大学コミュニティ福祉学部の学生約 25 名が参加し、2026 年 8 月から 9 月にかけて全 5 回のプログラムを実施しました。野村不動産のエリアマネジメント拠点「Be ACTO 武蔵浦和（マチノバ）」を活動フィールドに、「昼間人口が不在の都市構造において、『不在を前提にした防災』をどう設計するか？」をテーマとして設定。学生は地域住民や企業へのヒアリング、現地調査やフィールドワークを通じて地域課題を分析し、防災とコミュニティ形成の両面から解決策を検討しました。プログラムでは、立教大学コミュニティ福祉学部 原田峻准教授による学術的な監修、野村不動産および地域関係者によるフィールド・地域との接点の提供、ブランディングポートによるプログラム全体の設計・運営と学生への伴走支援を通じて、学生の主体的な学びを後押ししました。9 月 10 日に開催した最終報告会では、学生 4 チームが提案内容を発表し、地域課題解決に向けた新たな視点やアイデアを地域・企業・大学関係者に共有しました。

※一般社団法人 ACTO 武蔵浦和とは

ブラウドシティ武蔵浦和ステーションアリーナ 3 階に設置されているエリアマネジメント活動拠点「マチノバ」の運営等を通じて、武蔵浦和周辺エリアが持続的に維持・発展できるようなエリアマネジメント活動をしています。街区内の商業施設事業者である株式会社ヤオコーに加え、ブラウドシティ武蔵浦和ステーションアリーナ住宅管理組合、野村不動産株式会社を正会員とし、法人運営されています。



3. 今後に関して

今後は本プログラムを通じて提案された取り組みを Be ACTO 武蔵浦和をフィールドとして実現していく活動を進めてまいります。考えて終わらせるのではなく、実際に地域で実践していくことで地域の課題解決につなげていくことを目指します。

また、今後も埼玉大学・立教大学コミュニティ福祉学部・ブランディングポート・野村不動産の4者が連携をし、学生のキャリア形成を支援するとともに、地域住民・企業・教育機関との協業を通じて、地域課題の解決に向けた取り組みを推進してまいります。

■特定非営利活動法人ブランディングポートについて

「すべての若者に“自分ブランド”な生き方を」を使命に、大学・企業・地域と連携し、実践と内省を通じて大学生のキャリアを支援する特定非営利活動法人です。



- (1) 大学生に「企業・地域での実践機会」と「専属メンターによる内省支援」を提供する長期実践型キャリアプログラム
「B-CAMP（ビーキャンプ）」
- (2) 大学生に、社会人との対話やワークショップなどを通じて、社会で活躍する力やキャリアについて学ぶ機会を提供するキャリアセミナー
「B-COMPASS（ビーコンパス）」

■野村不動産のエリアマネジメントの取り組み「Be ACTO」について

「Be ACTO」は、野村不動産グループが運営に伴走するエリアマネジメントの仕組みです。地域活動の拠点となる「場」と、地域の新しい関係を後押しする「人」を用意して、地域の方々の主体的な活動を支えます。「Be ACTO」の活動に共感した、街区内に店舗を構える「コアパートナー」をはじめ、住民、教育機関、行政、企業が一体となってエリアの価値を創造しながら暮らしを起点とした街づくりを進めております。



URL : <https://www.be-acto.net/>

<Be ACTO におけるこれまでの産学連携の取り組み>

■24年12月（埼玉県・武蔵浦和）

<https://www.nomura-re.co.jp/cfiles/news/n2024122302571.pdf>

■26年3月（東京都・亀戸）

<https://www.nomura-re.co.jp/cfiles/news/n2026032306612.pdf>